

草の根・人間の安全保障無償資金協力 プレアビヒア州都洪水対策計画 完成式典開催

3月11日（火）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「プレアビヒア州都洪水対策計画」により建設された洪水排水施設の完成式が、プレアビヒア州の州都ドウバンミエンチェイにおいて開催されました。本事業は、プレアビヒア州都中心部に、直径0.8mの排水管路を900m（うちマンホール36基）埋設し、雨季の洪水を排水する施設です。洪水をスムーズに排水することで、浸水被害を軽減するとともに、洪水の滞留をやわらげることで、衛生環境も改善することができます。

このプロジェクトは、2013年3月に贈与契約が結ばれ、2013年8月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。同式典に、日本国大使館からは樋口義広公使が出席し、カンボジア側からは、オーム・マラ・プレアビヒア州知事、州政府関係者、対象地域の住民ら約400名が参列しました。式典で樋口公使は、「洪水対策施設の完成式典を行うことができ、嬉しく思います。プレアビヒアの州都に建設された洪水対策施設が日本とカンボジアの友好の象徴として長く利用され、本事業をきっかけに日本とカンボジアの友好関係がさらに親密になることを願っています。」と述べました。

続いて、オーム・マラ・プレアビヒア州知事から、本事業への支援に関し、州の代表、そして地域住民の代表として、日本政府と日本国民に対する感謝の意が述べられました。また、これまでの州政府の洪水対策に対する取組みを説明しつつ、本事業の効果について、住民にわかりやすく説明しました。

最後に樋口公使とオーム・マラ・プレアビヒア州知事が、洪水対策施設のテープカットを行い、式典は終了しました。



式典の様子



工事中の洪水排水管路



テープカットの様子



完成した施設（マンホール）